

理事長祝辞

令和4年度県立広島大学入学式が挙行されるこの良き日にあたり、お祝いを申し上げます。本日、660名の皆さんを県立広島大学の一員としてお迎えできましたことを、大変嬉しく思います。

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。

また、保護者をはじめご関係の皆様、心よりお祝いを申し上げます。

さて、本日、県立広島大学の門をくぐられた皆さんにお伝えしたいことは、「自ら学び考え、行動するという姿勢」を持って、これから始まる大学生活を送って欲しいということです。

2018年、成年年齢を引き下げる民法の改正が行われ、この4月から施行されました。皆さんの多くは、20歳未満の方々です。20歳未満の皆さんは、これまでは未成年でしたが、この4月からは新成人になりました。

民法は成年年齢として、「一人で契約をすることができる年齢」という意味と、「父母の親権に服さなくなる年齢」を定めています。

自らの考えで決定し、その決定に責任を負うのも自分となります。

大学や大学院、専攻科での学びも同様です。与えられるのではなく、自らの意思で、何を行うのかを考え、決定し、行動に移した結果が皆さんの将来に繋がります。自らが自分自身の将来に責任を持つこととなります。

皆さんには是非、様々な事柄に興味・関心を持っていただき、いろいろな情報を得て、時には想像力も働かせて、県立広島大学で、将来大きく羽ばたくための力を蓄えてほしいと願っています。

経済社会は、効率化や新サービス開発を目指したデジタル化の進展に加えて、コロナウイルス感染の拡大に伴うテレワークの進展や企業の事業再編の進行、ESG投資の広がり等、急激かつ大規模な歴史的変革が進行しています。

その上、ロシアのウクライナ軍事侵攻により、経済も含めた安全保障上の枠組の構造的変化の事態の発生もあり、大激動の時代となっています。

先を見通すことが難しい時代においては、まさに皆さんが、これからの社会を作り上げていく主役になります。よりよい明日を創っていくため、皆さんは、主体的に様々な課題の解決にビジョンを持って取り組んでいく、そういったモチベーションと行動力、そしてその基礎となる知識とそれを活用していくスキルを、この県立広島大学で身に付けてください。

県立広島大学は、その教育力と研究力を以て、皆さんの学びと充実した大学生活を応援することをお約束いたします。

最後に、皆さんにとって、本日が、素晴らしい未来を拓く、その一步を踏み出す記念すべき日になることをお祈りして祝辞を閉じたいと思います。

皆さん、ご入学、おめでとうございます。

令和4年4月7日

広島県公立大学法人 理事長 土屋 定之